

平成31年度 専門医研修：内科専門研修プログラム

1 基本事項

1. 基幹病院名：山梨県立中央病院
2. プログラム責任者名：梅谷 健
3. プログラム内容問い合わせ担当医名：梅谷 健
(TEL:055-253-7111, E-Mail:chubyo@ych.pref.yamanashi.jp)

2 プログラム概要

1. プログラム設定：新プログラム、旧プログラム、新旧併用プログラム（いずれか選択）
2. 募集人員：5名
3. 山梨県内連携病院：山梨大学附属病院、市立甲府病院、甲府共立病院、山梨赤十字病院
富士吉田市立病院、都留市立病院、峡南医療センター富士川病院 JCHO 山梨病院
特別連携施設：組合立飯富病院、北杜市立甲陽病院、北杜市立塩川病院、韮崎市立病院
身延山病院、上野原市立病院、南部町医療センター、丹波山村診療所
4. 山梨県外連携病院：諏訪中央病院、横浜市立大学、千葉大学
5. 地域医療研修方針：山梨県立中央病院、山梨大学附属病院、市立甲府病院など、上記8つの特色ある臨床研修指定病院と8つの特別連携病院での研修が行える。地域の院では地域住民の健康管理にも積極的に参加し自立した医療活動を経験する。
6. ローテーション方針：山梨県立中央病院では最大2年間の研修が行えます。連携施設では最大2年間の、特別連携施設では最大1年間研修が行える。3年間での研修が基本となる。専門研修1年目または2年目の10-11月頃に当事者の希望、将来像、研修達成度、メディカルスタッフの研修評価により次年の研修施設を調整する。基幹視閲において十分な研修ができた場合には基幹施設での研修を1年で終了し複数の連携施設、特別連携施設にて併せて2年研修をすることもできる。また、基幹施設での研修を1年目と3年目に分けて行うこともできる。

3 研修プログラムの特色

- ① 山梨県立中央病院は、山梨県中北医療圏の中心的な急性期病院であり、基幹施設として豊富な

臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で幅広い疾患群を順次経験するとともに、数多くの急性期疾患を経験できる。できるだけ最初の 1 年間で内科専門医制度研修カリキュラムに定められ多くの症例を研修する。

- ② 二次救急を担当する**市中病院として common disease を数多く経験できる**一方、**臓器別のサブスペシャリティ領域**に支えられた**専門的な急性期医療も経験することができる**。救命救急センター、周産期医療センター、がんセンターをはじめとする、数々の**山梨県のセンター機能**を担っており、**高度医療を要する疾患、難治性疾患、他科との連携が必要な疾患**も経験することができる。また、**地域医療支援病院として地域病院との病診連携**も経験できる。
- ③ **臨床研究に積極的に取り組み、学会発表、論文投稿が増加**している。さらに、一般病院として唯一の**ゲノム解析センターを有し、遺伝子解析を診療に活用**するべく複数の試みを進めている。**リサーチマインドを磨く**という観点からも研修に適した環境と言える。
- ④ **入院症例を、期間の限られたローテーション中に断片的に経験するだけでなく、ローテーションの枠を超えて、主担当医として、入院から退院まで、可能な限り長期にわたり症例を受け持つ。**一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践し、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得を目指す。
- ⑤ **「自由研修」の選択も可能。**ローテーション中のサブスペシャリティから離れて、毎週半日以内で、一定期間継続して、希望する内容の研修することもできる。（例：内視鏡検査、超音波検査）

平成 30 年度 5 名の専攻医 研修 schedule

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	消化器											
B	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器	循環器	循環器	循環器	循環器	腎臓	腎臓	腎臓	腎臓
C	腎臓	腎臓	腎臓	腎臓	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器	循環器	循環器	循環器	循環器
D	循環器	循環器	循環器	循環器	腎臓	腎臓	腎臓	腎臓	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器
E	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器	呼吸器	腎臓	腎臓	腎臓	消化	消化	消化